

第654回建設技術講習会の概要



全建 大石会長が「全建会員がもつべき知識」を講演！！

○開催日：令和元年9月11日（水）～9月13日（金）

○開催場所：滋賀県大津市

○テーマ：工事積算（土木・建築）の動向と i-Construction の取り組み

○主な講演内容

- ・大石会長講演「インフラの整備と経済成長～全建会員がもつべき知識～」
- ・パネルディスカッション「新しい時代における公務員技術者」を開催
- ・今、公務員技術者にとっての重要課題「i-Construction」の最新の動向
- ・月刊建設に連載中！芳賀講師が「公共工事と会計検査～設計、積算、施工における留意点～」を解説

○現場研修

- ・新世代の高速道路「新名神高速道路 大津JCT建設事業」
- ・天井川を切り下げる抜本的改修「こんぜがわ金勝川広域河川改修事業」
- ・桜並木と廃川となった天井川の地形を継承した都市公園「草津川跡地整備」

○交流会（参加予定講師）※今後予定が変更する場合があります

- ・全建会長 大石講師 ・国土交通省 岡村講師、近藤講師、矢野講師 ・元会計検査院 芳賀講師

全建発第 1 ～ 1 5 3 号
平成元年 7 月 2 5 日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和 印省略

第 6 5 4 回建設技術講習会

(工事積算(土木・建築)における動向と i-Construction の取り組み) の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約 6 万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるための i-Construction の貫徹に向けた取り組み、AI やロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第 6 5 4 回建設技術講習会では、品確法の改正に基づく価格設定の最新事情や今後の動向、土木工事積算基準や土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点等、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、公共建築工事における工事積算基準と最近の動向、i-Construction の貫徹に向けた取り組みと技術基準の新設、積算基準の改定、ヒューマンエラーの原因とその対策などについて学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和
印省略

第654回建設技術講習会開催について (工事積算(土木・建築)の動向とi-Constructionの取り組み)

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、令和元年9月11日(水)～13日(金)、大津市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、品確法の改正に基づく価格設定の最新事情や今後の動向、土木工事積算基準や土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点など、会計検査にみる設計、積算、施工における留意点、公共建築工事における工事積算基準と最近の動向、i-Constructionの貫徹に向けた取り組みと技術基準の新設、積算基準の改定、ヒューマンエラーの原因とその対策について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は滋賀県・大津市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
滋賀県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*2	—
滋賀県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
近畿地区連合会管内の市町村に勤務*1	18,400円	2,000円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

*1 政令市職員は除く、*2 特別会員は開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格(2,000円)で参加の場合、取り消しはできません。

※平成30年度より「地区連割」を実施しています。

③現場研修料：7,700円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等をご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7F
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数の「654」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：令和元年8月23日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	令和元年8月30日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	令和元年9月6日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(予定)」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8.5単位/3単位、CPDS：(未定)

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

第654回建設技術講習会(工事積算(土木・建築)の動向とi-Constructionの取り組み)日程 ～今後の土木工事、建築工事における基準の改正等、積算の動向と施工管理における効率化、安全管理に関する具体の取り組みについて学ぶ～

- ・品確法の改正に基づく価格設定の最新事情や今後の動向
- ・土木工事積算基準や土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点など
- ・会計検査にみる設計、積算、施工における留意点
- ・公共建築工事における工事積算基準と最近の動向
- ・i-Constructionの貫徹に向けた取り組みと技術基準の新設、積算基準の改定
- ・ヒューマンエラーの原因とその対策

会場 …… ピアザ淡海(ピアザホール)
〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 TEL077-527-3315(代)

(1日目) 開場11:40		令和元年9月11日(水)		(敬称略)
12:40 }	あいさつ	滋賀県知事	三日月 大 造	
13:00		大津市長 (一社)全日本建設技術協会 会長	越 直 美 大 石 久 和	
13:00 }	インフラの整備と経済成長 ～全建会員がもつべき知識～	(一社)全日本建設技術協会 会長	大 石 久 和	
14:30				
14:40 }	建設マネジメントの最新事情について	国土交通省大臣官房技術調査課 課長	岡 村 次 郎	
15:40				
15:50 }	【パネルディスカッション】 新しい時代における公務員技術者の使命	<コーディネーター> (一社)全日本建設技術協会 会長	大 石 久 和	
17:20		<パネリスト> (調整中)		
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:00～19:30(予定))		びわ湖プリンスホテル TEL077-521-1110 「コンベンションホール淡海」		
(2日目) 開場 9:00		9月12日(木)		(敬称略)
9:30 }	公共建築工事の円滑な施工確保対策について ～「営繕積算方式」の普及・促進～	国土交通省大臣官房官庁営繕部計画課 営繕積算高度化対策官	高 原 洋 介	
10:20				
10:30 }	土木工事標準歩掛の最近の動向と 適用上の留意点について	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 施工安全企画室 課長補佐	矢 野 公 久	
11:20				
11:30 }	公共工事と会計検査 ～設計、積算、施工における留意点～	(一財)経済調査会 技術顧問・参与 (元会計検査院農林水産検査第4課長)	芳 賀 昭 彦	
12:20				
13:30 }	【地域事業の紹介①】 滋賀県におけるi-Constructionの取り組みについて	滋賀県土木交通部技術管理課 主幹	柳 本 剛	
13:50				
13:50 }	【地域事業の紹介②】 大津市における自動運転とMa a Sの取り組みにつ いて	大津市未来まちづくり部 都市計画監	高 木 悟	
14:10				
14:20 }	ヒューマンエラーの原因と対策	常磐大学人間科学部心理学科 教授	申 紅 仙	
15:10				
15:20 }	i-Constructionの貫徹に向けた取り組みと技術基準 の新設、積算基準の改定と建設工事における事故と 安全対策について	国土交通省大臣官房技術調査課 建設システム管理企画室 室長	近 藤 修	
16:10				
16:10 }	閉会のあいさつ	滋賀県建設技術協会長 (滋賀県琵琶湖環境部 技監(下水道担当))	藤 田 喜世隆	
(3日目) 集合 8:00～		9月13日(金) 【現場研修】		

JR大津駅(8:30) 出発

→ 新名神高速道路大津JCT建設工事(下車説明) → 草津川跡地整備(下車説明) → 昼食(大津市内)
→ 金勝川広域河川改修事業(下車説明) → JR大津駅(15:40) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第654回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 新名神高速道路（大津～城陽）大津JCT（仮称）建設工事 … 大津市上田上桐生町～上田上牧町

- ・新名神高速道路は愛知県名古屋市を起点とし兵庫県神戸市に至る全長約174kmの高速自動車国道。
- ・名神高速道路との適切な交通機能分担を確保し、名神高速道路の混雑を解消し、利用者サービスの向上と災害や事故など緊急時や大規模な補修工事による交通規制時には、名神高速道路と交互に代替機能を発揮して的確に交通処理を行うことを目指している。
- ・名神高速道路、中国自動車道など周辺の高速度道路とともに、近畿圏と中部圏を結ぶネットワークを形成、強化し、高速度道路に求められる「高速性」「定時性」「快適性」「安全性」などの機能を高め、沿道及び西日本の広域医療、観光文化交流等地域の経済性・住民生活への貢献も期待。
- ・大津JCT（仮称）はこの新名神高速道路（大津～城陽間）の交通結節点として工事着手されている。



2. 草津川跡地整備事業

- ・草津川は淀川水系の一級河川で、下流部分は典型的な天井川であり度重なる災害をもたらしていたため、治水対策事業として草津川放水路に付け替えられ、旧河道は廃川となった。
- ・草津市では、この跡地をまちづくりの資源として活用すべく基本構想を策定し、琵琶湖からJR東海道新幹線までを6つの区間にわけ、区間1を滋賀県が、区間2から区間6までを草津市が「草津川跡地利用基本計画（平成24年10月策定）」の整備テーマに基づき、順次整備を実施中。
- ・人々の交流や多様な文化・コミュニティ活動が活性化される「人々の心を強くひきつけ、未永く愛される新しいにぎわいのステージとする」ことを重要と考え、草津市の都市価値を高め、未来に新しいチャンスを広げる空間としてとらえ、「どこにもない 魅力まちづくりの舞台開き」を目指した。
- ・平成29年4月に「a i 彩ひろば（区間2）」と「d e 愛ひろば（区間5）」が開園し、市民の憩いの場となっており、イベント開催時には多くの人々で賑わいを見せている。

…………… 草津市大路



3. こんぜかわ 金勝川広域河川改修事業

- ・金勝川は、栗東市、湖南市、甲賀市に位置する阿星山に源を発し、途中、細川、雨丸川、山田川が合流し、名神高速道路を横断して草津川に注ぐ、流域面積20.93km²、流路延長10.4kmの一級河川。
- ・特に、草津川合流点から名神高速道路上流までの1,800mの区間については、県内で有数の天井川となっており、その沿川には住宅地が密集していることから平地河川化は地域の悲願である。
- ・草津川放水路完成後の平成15年より、草津川合流点から上流に向け事業を実施している。

…………… 栗東市目川



第654回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には大津市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込締切後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

令和元年9月10日(火), 11日(水), 12日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルテトラ大津 (大津駅南口改札直結) 大津市逢坂1-1-1 TEL077-527-6711	シングル	50名	8,600円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第654回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時： 令和元年9月11日(水) 18:00～19:30(予定)
(第654回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所： びわ湖プリンスホテル
「コンベンションホール淡海」

会費： 2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
- ※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- ・ (一社)全日本建設技術協会 会長 大石 久和
- ・ 国土交通省大臣官房技術調査課 課長 岡村 次郎 講師
- ・ 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室 室長 近藤 修 講師
- ・ (一財)経済調査会 技術顧問・参与 芳賀 昭彦 講師

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第654回建設技術講習会（工事積算(土木・建築)の動向とi-Constructionの取り組み) 申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込			
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会 員	正会員 30 歳 未 満			予約日に○を 記入して下さい			
								9月 10日	11日	12日	
1											
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元及び地区連管内の市町村)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村(政令市除く)に勤務する「正会員」(賛助会員除く)			現場研修料 名×7,700円＝ 円		計 円		現場研修の昼食は不要の申し出はできません※		宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。		
					↓全建に振込						

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までにメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,000円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。